

境港市まちづくり総合プラン具体的施策の取組状況

基本目標 1 広域連携による一体的発展

具体的施策 (1) 物流拠点「境港」の機能強化・輸出入の拡大

施策の展開方針

①機能強化に向けた要望活動	評価	A
平成28年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> 国土交通省本省及び鳥取・島根県選出国會議員への要望活動2回（H28.8.5、H29.2.8）実施。 要望項目： <ul style="list-style-type: none"> ①竹内南地区貨客船ターミナル整備事業の予算確保と早期完成（H28.8.5、H29.2.8） ②大型クルーズ客船の受入に必要な施設整備（H28.8.5） 訪問団：中海・宍道湖・大山圏域市長会、中海・宍道湖圏域市議会議長会、中海・宍道湖圏域商工会議所、境港流通プラットフォーム協議会、環日本海経済活動促進協議会		
平成29年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> 竹内南地区貨客船ターミナルが計画（H27～H31）どおり整備されるように、要望活動を継続して実施する。 		

施策の展開方針

②内航RORO船定期航路開設	評価	A
平成28年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> 境港流通プラットフォーム協議会を中心に内航RORO船トライアル輸送を実施。 ①境港～敦賀港～苫小牧港 期間：H28.6.18～6.29（境港寄港：6.20、6.28） ②境港～博多港～東京港 期間：H28.12.2～12.8（境港寄港：12.5）		
平成29年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> 内航ROROの準定期化に向けて継続してトライアル輸送を実施する。 		

施策の展開方針

③航路の利用促進と流通機能の向上	評価	A
平成28年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> 鳥取県、境港貿易振興会などの関係機関と連携して、航路の活性化に向けて取り組んだ。境港貿易振興会では、大阪での境港利用促進懇談会を開催したほか、出雲市でポートセミナーを開催し、浜田港と境港の一体的な利活用を働き掛けるという新たな取組みを実施。 		
平成29年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、関係機関と連携して、船社・物流関係企業・荷主・寄港地等と接触を図り、航路の活性化に向けて取り組む。鳥取県版「ロシア中小企業・人的交流分野における協力プラットフォーム」への参画等を通じてロシアとの交流を進めるほか、鳥取県と吉林省の姉妹都市提携でさらなる交流の発展が期待される中国東北部との交流や物流ルート構築を進めていく。 		

施策の展開方針		
④ポートセールスと貿易支援の充実	評価	A
平成28年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・鳥取県、境港貿易振興会などの関係機関と連携して、航路の活性化に向けて取り組んだ。境港貿易振興会では、大阪での境港利用促進懇談会や、出雲市でのポートセミナーを通じて、港湾機能の強化の取組や、コンテナサービスの拡充を荷主企業等へ周知し、境港利用を呼び掛けた。 		
平成29年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> ・港湾機能や航路の充実等の情報を的確に関係者に周知することで、他港に流れている貨物を境港にシフトさせる。新たな物流ルートの構築やビジネスマッチング等の貿易支援によって、新たな貨物を創出する。 		

施策の展開方針		
⑤境港ふ頭再編改良事業の推進	評価	A
平成28年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・国及び山陰両県選出国會議員への要望活動の実施（再掲）。 ・日本港湾協議会総会（H28.5.26）等、各種港湾関係機関・団体の会議、イベント等への出席、参画など。 		
平成29年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き要望活動（再掲）に取り組むとともに、港湾関係機関・団体の会議・イベント等に継続して出席・参加する。 		

具体的施策	(2) 環日本海定期貨客船の利用促進
-------	--------------------

施策の展開方針		
①安定運航のための支援	評価	A
平成28年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・自立安定化支援として鳥取県と中海・宍道湖・大山圏域市長会で協調して境港～東海間（51往復）の運航経費の一部（1往復につき100万円）を助成。鳥取県が7割（3,570万円）、市長会が3割（1,530万円）を負担。市長会の中の内訳は、米子市・松江市・出雲市・安来市は定額で計700万円を負担し、境港市は残額（830万円）を負担。 		
平成29年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年6月末までは、支援を継続する方針。その後については、運航会社の経営状況を注視しながら、運航会社及び鳥取県との協議を踏まえ判断する。 		

施策の展開方針		
②利用促進活動の推進	評価	A
平成28年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・鳥取県、境港貿易振興会などの関係機関と連携して、航路の活性化に向けて取り組んだ。境港貿易振興会では、大阪での境港利用促進懇談会や、出雲市でのポートセミナーを通じて、港湾機能の強化の取組や、コンテナサービスの拡充を荷主企業等へ周知し、境港利用を呼び掛けた。また、国際定期便利用促進協議会を通じ、グループ旅行への支援や旅行会社への商品造成支援を行い、境港利用者数は29,143人（過去最多）を記録した。 		
平成29年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き境港貿易振興会等の関係機関と連携して航路の周知や貨物の創出に取り組むとともに、米子ソウル便と組み合わせた旅行商品の造成等により、課題となっている日本人旅客の利用促進に取り組む。 		

具体的施策	(3) 米子鬼太郎空港の利用促進
-------	------------------

施策の展開方針		
①国内定期路線の維持及び利用促進	評価	A
平成28年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・全日空への路線充実の要望を行ったほか、米子空港利用促進懇話会を通じ鳥取県及び関係団体と連携し、旅行会社への商品造成支援等を行った。 ・米子鬼太郎空港フェスタの開催や、米子空港ビルとの連携により、空港PRを通じ航空路線の利用促進を呼び掛けている。 		
平成29年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> ・全日空に対し、引き続き路線充実の要望を行うとともに、格安航空会社の就航に向けた要望活動も並行して行う。 ・空港フェスタ等、米子鬼太郎空港のPRを行っていく。 		

施策の展開方針		
②国際定期路線の維持及び利用促進	評価	A
平成28年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・国際定期便利用促進協議会を通じ、グループ旅行への支援や旅行会社への商品造成支援を行い、搭乗者数は37,688人（過去最多）を記録した。 ・9月には香港便が新規就航し、10月にはソウル便がLCC化されるなど、国際定期便の利便性が拡充した。 		
平成29年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き国際定期便利用促進協議会等、関係機関と連携し利用促進を図る。 		

施策の展開方針		
③国際チャーター便の利用促進	評価	A
平成28年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・米子空港利用促進懇話会を通じ、旅行会社への送客奨励金の支給等の支援を行った。 ・平成28年度は、7月3日（日）～8月22日（月）、上海吉祥（きっしょう）航空が8往復運航し、乗降客数1,721人／提供座席数2,528人（利用率68.1%）だった。 		
平成29年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き米子空港利用促進懇話会等、関係機関と連携してチャーター便運航への支援を行う。 		

具体的施策	(4) 市民レベルの国際交流の促進
-------	-------------------

施策の展開方針		
①交流事業の促進と支援	評価	A
平成28年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・鬼太郎カップ駅伝競走大会に韓国・ロシアから駅伝チームを招き、駅伝大会への参加及び小学生との交流を行ったほか、民間団体が実施する日韓高校生サッカー大会の運営を支援した。 		
平成29年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> ・鬼太郎カップ駅伝競走大会に韓国・ロシアから駅伝チームを招き、駅伝大会への参加及び小学生との交流を行うほか、民間団体が実施する文化・スポーツ交流事業を支援する。 ・また、5年に1回、中国・北京市で開催される日中友好交流都市中学生卓球交歓大会へ中学生を派遣し、卓球を通じた日中間の交流を図る。 		

施策の展開方針		
②言語や文化の相互理解の促進	評価	A
平成28年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・友好都市である中国琿春市から国際交流員1名を招致し、交流活動の促進を図った。語学講座への講師派遣のほか、保育園訪問や公民館活動への参加、市民交流における通訳支援など言語や文化の相互理解の促進に取り組んだ。 ・このほか、環日本海市民交流促進事業補助金制度を通じて、市民による青少年スポーツ交流の支援に取り組んだ。 		
平成29年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> ・琿春市からの国際交流員の招致を継続し、地域における他国の文化の理解や、市民レベルの交流を通じた相互理解の促進に取り組むとともに、実際に相互の行き来を行うための基礎となる国際定期航路の維持拡充に取り組み、補助制度等を通じて、市民レベルの交流を後押しする。 		

具体的施策	(5) 港湾周辺区域の賑わい創出（クルーズ客船受入、水族館ほか）
-------	----------------------------------

施策の展開方針		
①ポートセールス及び観光プロモーションの推進	評価	A
平成28年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・クルーズ客船の寄港に際し、二次交通の確保や観光案内、通訳の確保等を行い、28年度は33回39,589人寄港であった。 		
平成29年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> ・29年度からは、中海宍道湖大山圏域で連携し、地域の文化や芸能を披露するとともに、観光案内の充実等により乗船客の満足度を高め、次回の寄港につながる誘致活動を行う。 		

施策の展開方針		
②外国人観光客受入体制の整備	評価	A
平成28年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・クルーズ船寄港時に水木しげるロードの店舗に外国語歓迎ポスターを掲示、岸壁から境港駅までのシャトルバスの運行や、通訳案内ボランティアの確保等により体制を整備した。 		
平成29年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> ・IoTを活用した観光クラウド（観光情報提供システム）の構築、二次交通の確保、外国語表記の推進等を行う。 		

施策の展開方針		
③外国人観光客対応力の強化	評価	A
平成28年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・クルーズ船乗船客のためのシャトルバスを運行したほか、水木しげるロードのブロンズ像の多言語紹介システムを構築したほか、外国人が多く来訪する京都等での観光PRを実施した。 		
平成29年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> ・岸壁から境港駅までのシャトルバスを運行し、市内及び圏域での周遊性を高めるとともに、IoTや多言語観光パンフを活用し、外国人観光客の受け入れ態勢の整備を行う。 		

施策の展開方針		
④水族館構想の検討	評価	B
平成28年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> 平成27年度に鳥取県、境港管理組合と共同で実施した「実現可能性調査」の調査結果が報告された。その結果内容について検討を行った。 		
平成29年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> 官民で組織する「竹内南地区賑わいづくり検討会」において、情報共有及び意見交換を図るとともに、市の財政状況を見極めた上で、慎重に検討していく。 		

具体的施策	(6) インバウンド観光の推進
-------	-----------------

施策の展開方針		
①外国人観光客受入体制の整備[再掲]	評価	A
平成28年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> クルーズ船寄港時に水木しげるロードの店舗に外国語歓迎ポスターを掲示、岸壁から境港駅までのシャトルバスの運行や、通訳案内ボランティアの確保等により体制を整備した。 		
平成29年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> IoTを活用した観光クラウド（観光情報提供システム）の構築、二次交通の確保、外国語表記の推進等を行う。 		

施策の展開方針		
②外国人観光客対応力の強化[再掲]	評価	A
平成28年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> クルーズ船乗船客のためのシャトルバスを運行したほか、水木しげるロードのブロンズ像の多言語紹介システムを構築したほか、外国人が多く来訪する京都等での観光PRを実施した。 		
平成29年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> 岸壁から境港駅までのシャトルバスを運行し、市内及び圏域での周遊性を高めるとともに、IoTや多言語観光パンフを活用し、外国人観光客の受け入れ態勢の整備を行う。 		

施策の展開方針		
③広域連携による一体的な観光振興	評価	A
平成28年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> 中海宍道湖大山圏域市長会において、台湾等への観光プロモーションの実施、観光関連事業者に向けた研修会の開催、指さし会話シートの作成、圏域多言語観光パンフの作成、等を行った。 山陰両県で設立した「山陰インバウンド機構」の連絡会に参画し、情報交換を行ったほか、海外へのPR、ファムツアー等へ協力し、本市への誘客につなげている。 		
平成29年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> 中海宍道湖大山圏域でDMO組織を設立するほか、引き続き、台湾・香港等への観光プロモーションを圏域でまとまって実施していく。 「山陰インバウンド機構」と連携し、クルーズ船、国際定期航空路線等のインバウンド需要把握や、IoTを使った決済等の実証等を進める。 		

具体的施策	(7) 中海・宍道湖・大山圏域連携事業の推進
-------	------------------------

施策の展開方針		
①活力にあふれる圏域づくり（産業振興）	評価	A
平成28年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・圏域内企業のビジネスマッチングや山陰いいものマルシェを開催した。海外展開支援事業として、ロシアへの販路開拓支援のほかに、新たに、インドとの経済交流にも取り組んだ。 ・圏域の自治体、事業者、国立大学医学部などで行われている産学・医工連携の取り組みを推進するため、新たに「産学・医工連携事業」を開始した。 		
平成29年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> ・山陰いいものマルシェの圏域内開催が一巡するため、次のステップを目指す。また、ロシアやインドへの海外展開については、新たな取り組みを研究するとともに、引き続き圏域内の産業振興を図る。 		

施策の展開方針		
②訪ねてみたい圏域づくり（観光振興）	評価	A
平成28年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・海外での観光プロモーション（台湾、香港）、国内への観光プロモーション（首都圏、関西圏、中京圏）を初めとした誘客活動や外国人観光客の受入環境整備等、インバウンド対策に取り組んだ。 ・関係団体と連携して圏域DMO設立に向けて取り組んだ。 		
平成29年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> ・市長会と経済界及び観光協議会とで連携して、圏域DMO（中海・宍道湖・大山圏域インバウンド機構）を設立した。今後は、「中海・宍道湖・大山圏域インバウンド機構」を中心に、インバウンド対策を初めとした観光振興事業を実施していく。 		

施策の展開方針		
③住みたくなる圏域づくり（環境の充実）	評価	A
平成28年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・自然環境学習「中海・宍道湖自然体験クルーズ」や「中海・宍道湖 水鳥フォトコンテスト」等の開催により、環境保護の意識高揚と圏域内外の交流人口の拡大が図られた。 ・構成市の防災担当課における連絡会や合同防災訓練等を実施した。 		
平成29年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、圏域の豊かな自然環境等の学習及び関係機関と連携した情報発信を行う。 ・安全に安心して暮らすことのできる環境づくりを目指し、圏域が一体となり、広域的な防災体制の構築に向けた取り組みを行う。 		

施策の展開方針		
④ともに歩む圏域づくり（連携と協働）	評価	A
平成28年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・「山陰まんなか未来創造塾」に行政及び経済関係者が参加することで、圏域を担う人材育成、人的な交流を通じた広域的な人的ネットワークの構築に取り組んだ。 ・中海・宍道湖・大山ブロック経済協議会との意見交換会を開催するなど、圏域内の行政と民間団体等の連携と交流に取り組んだ。 ・圏域内の夏祭りやイベントにおける文化団体や芸能団体等の招致・交流に取り組んだ。 		
平成29年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、官民が連携した人材育成の研修、意見交換会、イベントにおける団体の招致・交流に取り組む。 		

具体的施策	(8) 国・県事業の促進（高速道路網整備、貨客船ターミナル整備ほか）
-------	------------------------------------

施策の展開方針

①境港ふ頭再編改良事業の推進[再掲]	評価	A
平成28年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・国及び山陰両県選出国會議員への要望活動の実施（再掲）。 ・日本港湾協議会総会（H28.5.26）等、港湾関係機関・団体の会議・イベントへの出席、参画（日本海にぎわい交流海道ネットワーク再加入）など。 		
平成29年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き要望活動（再掲）に取り組むとともに、港湾関係機関・団体の会議・イベントに継続して出席・参加する。 		

施策の展開方針

②圏域内外を結ぶ高速道路ネットワークの整備	評価	A
平成28年度取組実績		
<p>【米子～境港間の高規格幹線道路】 平 成28年3月に米子・境港地域のあり方「勉強会」が「検討会」に格上げされ、検討会の具体的な検討組織(WG)として設置されている「まちづくりWG」と「ストック効果WG」が2回開催された。</p> <p>【境港出雲道路】 「境 港出雲道路」は、全線70kmのうち約13kmが完成し供用中である。現在は、2020年ごろの事業化を目指し「松江北道路」川津IC(松江だんだん道路)～松江イングリッシュガーデン間、約10kmの概略計画(ルート帯)の検討に取り組んでいる。</p> <p>【山陰道】 県内山陰道で唯一の未事業区間となっていた「北条道路」はわいIC～大栄東伯IC間、13.5kmの新規事業化が決まった。また、現在、事業が進められている「鳥取西道路」鳥取西IC～青谷IC間、17.5kmが平成30年全線開通する見通しとなった。 ※「鳥取西道路」のうち浜村鹿野温泉IC～青谷IC間、4.7kmは、平成29年開通。 【中国横断自動車道岡山米子線の4車線化】</p> <p>「米子道」の蒜山IC～米子IC間が「付加車線設置検証路線」に選定され、江府IC付近から南側3.4kmが、5年以内の完成を目指し整備されることになった。 ※平成29年12月より現地に着手する予定。</p>		
平成29年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> ・圏域内外の「ひと」と「もの」の移動や流通の一層の利便性向上を目指し、高速道路ネットワーク整備や4車線化等の機能強化を、圏域が一体となって、引き続き国や関係機関に要望していく。 ・「米子～境港間の高規格幹線道路」については、米子IC～米子北IC間の凍結解除と米子北IC～境港までの計画策定に向け、「どこのルートが合理的であるか」関係自治体と連携して検討を進める。国や県も入る「検討会」では、米子・境港地域の「高規格な道路を活かしたまちづくりの提言」の取りまとめを行う予定。 		

基本目標	2 全国ブランド「さかな」と「鬼太郎」を生かした経済振興
------	------------------------------

具体的施策	(1) 高度衛生管理型漁港・市場整備の促進
-------	-----------------------

施策の展開方針		
①境漁港の高度衛生管理型漁港・市場の整備	評価	A
平成28年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・資材費等高騰等による事業費の増額、地盤条件の見直しによる基礎工法の変更等のため、特定漁港漁場整備事業計画を変更（事業費120億円→185億円） ・平成28年12月トラックスケール・3号上屋（南）工事完了。平成29年1月供用開始。 ・平成28年12月1号・陸送・5号上屋工事に着手。 		
平成29年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> ・境港地区高度衛生管理基本計画、特定漁港漁場整備事業計画に基づき、漁港・市場の整備工事を実施する。 		

施策の展開方針		
②電動フォークリフトの導入支援	評価	A
平成28年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・事業者等による施設内で使用する電動フォークリフトの導入を県と協力して支援するため、導入経費の一部を補助する事業を、平成29年度より予算措置。 		
平成29年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> ・電動フォークリフトの導入経費の一部を補助する高度衛生管理型市場移行円滑化事業により、支援を行う。 		

具体的施策	(2) 境港ブランドの積極的情報発信
-------	--------------------

施策の展開方針		
①情報発信の充実	評価	A
平成28年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・水産まつり、マグロ感謝祭、カニ感謝祭等各種イベント開催を支援するとともに、産地協議会等の活動を通じて、魚食普及、情報発信等に取り組んだ。 ・水木しげるロードの来訪客が3000万人を突破したことを受け記念事業を開催したほか、リニューアル事業の発表を兼ねた「怪フォーラム」の開催、東京都調布市での「ゲゲゲ忌」参加等、県内外でのPRを実施した。 ・市内の保育園等で、フィッシュ・キッチンやおさかな探検、ギンザケ集会、マグロ集会、カニ集会等食育活動に取り組んだ。 		
平成29年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度に「みんなで選ぶ境港の水産加工大賞」を開催。 ・引き続き、水産まつり等各種イベント開催、食育活動、魚食普及等に取り組む。 ・沿岸漁業者と園児との交流事業に取り組む。 ・リニューアル期間中の「世界妖怪会議」を中心に、今しか見ることができない水木しげるロードを県内外へPRする。 		

施策の展開方針		
②新たな賑わいの創出	評価	A
平成28年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・水木しげる作品の根幹である「妖怪文化」を後世につなげることを目的に、「水木しげる生誕祭」を鳥取県との共催により開催した。 ・リニューアル事業の進展により、夜の賑わいづくりにつなげるため、水木しげる記念館の土曜休日の開館時間延長を開始した。 		
平成29年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> ・リニューアル工事期間中の集客対策として、SNSを利用した情報発信や、市内小学生を対象とした妖怪文化伝承事業を行い、県内外への妖怪文化、水木作品の素晴らしさを発信していく。 		

施策の展開方針		
③観光客受入体制の充実	評価	A
平成28年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・市内及び圏域での観光周遊を促すため、中海宍道湖大山圏域の共有スマートフォンアプリ「縁むすびスマートナビ」を稼働したほか、妖怪ブロンズ像の解説を多言語で紹介するアプリを開発し、妖怪文化により深く触れられる仕掛けづくりを行った。 		
平成29年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> ・総務省が推奨する「観光クラウド」を導入し、観光客自らが出発前から観光周遊プランを計画できるシステムを構築する。 ・中海宍道湖大山圏域で連携し、観光案内所の現状把握や改善案の検証を行い、受入体制のさらなる充実を図る。 		

施策の展開方針		
④水産物の販路拡大	評価	A
平成28年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・関東、関西地区における商談会やイベント等に参加、出店し、境港産水産物等のPRに取り組んだ。 ・海外（香港）の観光物産展に境港の企業が参加、試食販売を行い、継続取引につながった。（鳥取県境港水産物輸出入促進協議会） 		
平成29年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、関東、関西地区における商談会やイベント等に参加、出店し、境港産水産物等のPRに取り組む。 ・海外店舗への鮮魚輸出等海外市場への販路開拓に取り組むとともに、漁獲証明手続きの簡素化等にも取り組む。（鳥取県境港水産物輸出入促進協議会） 		

施策の展開方針		
⑤水産物のブランド力強化	評価	A
平成28年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・水産まつり、マグロ感謝祭、カニ感謝祭等各種イベント開催を支援するとともに、産地協議会等の活動を通じて、「産地境港」を全国に情報発信した。 ・鳥取大学、東京海洋大学を訪問し、水産の研究施設の誘致の可能性等について協議を行った。 		
平成29年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、水産まつり等各種イベント開催、魚食普及等を通じて「産地境港」を積極的に情報発信する。 ・漁業者と連携して付加価値向上等に取り組む食品加工業者等に対して支援を行う。 ・近畿大学等を訪問し、水産の研究施設の誘致の可能性等について協議を行う。 		

施策の展開方針		
⑥ふるさと納税制度を活用した情報発信	評価	A
平成28年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと納税の外部ポータルサイトに寄附申込窓口を開設し、インターネットを通じて特産品（境港ブランド）の情報発信に取り組んだ。 ・返礼品カタログを前年度寄附者に送付するとともに、境港出身者が集まる会での配布や自治体アンテナショップ等へ配架するなど市のPRの機会を捉え、情報発信に努めた。 		
平成29年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、インターネットやカタログ送付による特産品（境港ブランド）の情報発信に取り組む。 ・境港ならではの魅力あふれる特産品を提供し、全国へ向けたPRに取り組む。 		

具体的施策	(3) 水木しげるロードリニューアルの早期完成、街並み整備
-------	-------------------------------

施策の展開方針		
①すべての人にやさしく、誰もが楽しめる道づくり	評価	A
平成28年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・水木しげるロードリニューアル道路詳細設計（照明演出設計を含む）を完了。 ・工事等に関する地元説明を実施。 ・植栽移植、駅前公園整備（ブロンズ像仮置場）等、一部工事着手。 		
平成29年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> ・平成29年5月以降、本格的な道路改良工事に着手。（平成30年7月完成予定） 		

施策の展開方針		
②活気あふれ、また来たくなる質の高い「おもてなし」	評価	A
平成28年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・国土交通省の社会資本整備総合交付金「街なみ環境整備事業」に応募し、事業認定を受ける。 ・水木しげるロード沿道の各団体が、景観等に関するルールを定めた「まちづくり協定」の検討に着手。 ・各団体が実施する街なみ整備に関する取り組み（視察、勉強会等）を支援した。 		
平成29年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> ・地元による「まちづくり協定」の取りまとめ。（平成29年12月頃） ・地元が行う街なみ整備に対する補助要綱を策定。（平成29年度中） ・地元が行う街なみ整備に対して補助金を交付。（平成30年5月以降） 		

具体的施策	(4) 水産と観光の連携
-------	--------------

施策の展開方針		
①「食」による観光の魅力づくり	評価	A
平成28年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・東京都調布市で開催された「ゲゲゲ忌」、本市で開催された「水木しげる生誕祭」、「怪フォーラム」等の水木関連イベントにおいて、ベニズワイガニや水産加工品のPRを併催し、水木ファンを中心に境港市の食の魅力をPRした。 		
平成29年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> ・大山開山1300年祭に関連し、「大山の恵みを受けた美保湾ブランド」をコンセプトとした記念料理の開発支援や、「境港新かにめし」等のご当地グルメのPRを通じ、食の魅力を発信していく。 		

施策の展開方針		
②「魅せる漁業」の充実化	評価	A
平成28年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・水産物の水揚げやセリ等が見学できる「境漁港見学ツアー」や沿岸漁業者が水産物を直接販売する「中野港漁村市」等の開催を支援し、「魅せる漁業」の取組みを進めた。 		
平成29年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き「中野港漁村市」「境漁港見学ツアー」等、多くの「魅せる漁業」の開催を支援し、PRに努めるとともに、更なる内容の充実に取り組む。 		

施策の展開方針		
③体験型メニューの造成	評価	A
平成28年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・中海や美保湾の自然環境を活かしたマリンスポーツの普及や中海の賢明利用を目的に、鳥取県との共催により「中海SUPフェスティバル」を開催した。 ・民間で進む「釣り」と「食事」をセットにした商品や、「漁港見学ツアー」をJR・旅行会社や県外での観光プロモーションの場でPRを行った。 		
平成29年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度のJRディスティネーションキャンペーンや県外観光プロモーションにおいて、上記の体験メニューをPRする。 ・中海や美保湾のスポーツアクティビティでの活用方策について、関係機関と協議するほか、整備が進む「弓ヶ浜サイクリングロード」の活用について検討する。 		

具体的施策	(5) 観光地の魅力度向上による滞在型観光の推進
-------	--------------------------

施策の展開方針		
①観光ブランドイメージの形成と定着	評価	A
平成28年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・鳥取県との共催で「水木しげる生誕祭」を開催し、日本中の水木しげるファンが妖怪に仮装して参加するイベントを行った。妖怪の聖地として情報を発信するとともに、有名人によるトークショー等、コアな水木ファンへの訴求を行った。 		
平成29年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> ・生誕祭をはじめとする水木ファンの興味が高いイベントの開催や、工事期間中のロードの「今しか見ることができない」点をアピールするSNSキャンペーンを展開する。 		

施策の展開方針		
②夜の魅力度向上	評価	A
平成28年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・ロードリニューアルによる「夜間演出」の効果を高めるため、土曜日・祝日における水木しげる記念館の開館時間の延長を行った。 ・水木しげる生誕祭や怪フォーラム、鬼太郎祭等、夜のロードの魅力を感じてもらうため、夕方から夜のイベント開催に努めた。 		
平成29年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、水木しげる記念館の開館時間延長を行うほか、SNSキャンペーンでの夜の魅力の発信や記念館前庭を使った夜の映画会等を開催する。 		

施策の展開方針		
③体験型レジャーの造成	評価	A
平成28年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 中海や美保湾の自然環境を活かしたマリンスポーツの普及や中海の賢明利用を目的に、鳥取県との共催により「中海SUPフェスティバル」を開催した。 ・ 民間で進む「釣り」と「食事」をセットにした商品や、「漁港見学ツアー」をJR・旅行会社や県外での観光プロモーションの場でPRを行った。 		
平成29年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 平成30年度のJRディスティネーションキャンペーンや県外観光プロモーションにおいて、上記の体験メニューをPRする。 ・ 中海や美保湾のスポーツアクティビティでの活用方策について、関係機関と協議するほか、整備が進む「弓ヶ浜サイクリングロード」の活用について検討する。 		

具体的施策	(6) 企業誘致と創業支援による雇用の創出
-------	-----------------------

施策の展開方針		
①企業誘致の促進	評価	A
平成28年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 市の各種支援制度を活用し、市内企業の規模拡大や、市外からの企業誘致推進を図った。 ・ H28年度進出企業 1社 		
平成29年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 引き続き、市外からの企業誘致活動を実施し、地域活性化、雇用促進に繋げる。 ・ H29年度進出企業 3社 		

施策の展開方針		
②創業支援の充実	評価	A
平成28年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 相談窓口の設置、補助制度整備、西部地域の自治体・商工団体との連携により創業支援に積極的に取り組むことで、新たな働く場が創出されている。 ・ H28年度補助金実績 5社 		
平成29年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 引き続き、相談窓口、西部地域の関係機関と連携し、創業支援に積極的に取り組む。 		

施策の展開方針		
③人材確保の推進	評価	A
平成28年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 商工団体への要望活動や、中海圏域自治体での就職ガイダンスの開催などを通じ、人材確保のための取り組みを行った。 		
平成29年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 10月、鳥取労働局、米子公共職業安定所と「雇用対策協定」を締結。 各機関それぞれの強みを生かして密に連携し、効果的かつ一体的に事業を推進することにより、市内企業の人材育成や確保支援を図り、一体的かつ総合的な雇用や労働に関する施策の実現と諸課題への対応を目指す。 		

具体的施策	(7) 伝統的地域資源「伯州綿」のブランド化
-------	------------------------

施策の展開方針

①栽培の効率化	評価	A
平成28年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・伯州綿畑の約3,000㎡の面積に防草シートを設置して栽培時の除草作業の軽減に取り組み、収穫量の安定化を図った。 ・市民サポーター向けの交流会を開催し、サポーター同士の交流を図るとともに栽培方法等について意見交換を実施した。 		
平成29年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> ・防草シートの面積を拡大し、引き続き栽培の栽培の効率化に取り組む。 ・サポーター交流会の回数を増やして、サポーター同士の交流を促進するとともにサポーターの増員を図る。 		

施策の展開方針

②ブランド化に向けた体制づくり	評価	A
平成28年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・産官学金地域連携プロジェクト（※伯州綿利活用研究会）として、伯州綿を100%使用した商品（「保温・保護用の寝衣「寝ごろちゃん」）を開発し、メンバーの市内民間事業者に原料（綿）の供給を行った。 ・米子市内の百貨店と協力して新商品の開発に取り組み、伯州綿と弓浜緋の催事を開催して販売及びPRを行った。 		
平成29年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き産官学金地域連携プロジェクト、百貨店等と協力し、新商品の企画・開発・販売に取り組む。 		

施策の展開方針

③伯州綿のブランド化	評価	A
平成28年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・伯州綿連絡協議会において、伯州綿のブランド化について協議を行った。 ・拠点施設の候補として、外部アドバイザーより「海とくらしの史料館」を活用し、将来的に「道の駅」へ移行することを視野に入れて計画策定をするよう提言を受けた。 		
平成29年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き伯州綿連絡協議会において、伯州綿のブランド化について協議・検討を行う。 ・拠点施設の整備について、引き続き可能性調査を行うとともにさらなる販路開拓に取り組む。 		

基本目標	3 一人ひとりを大切にした教育と福祉の充実
------	-----------------------

具体的施策	(1) 少人数学級の実施や指導補助員の配置など教育環境の充実
-------	--------------------------------

施策の展開方針		
①学習支援の充実	評価	A
平成28年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・小学校1・2年生の30人学級、3～6年生の35人学級、中学校1年生の33人学級、2・3年生の35人学級の少人数学級を実施すると共に、各校2名の学習指導補助員を配置し、きめ細やかな学習支援が行える教育環境を整えた。 		
平成29年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、少人数学級の実施と、各校2名の学習指導補助員の配置を行う。 ・小学校の英語教育拡大に伴い、英語指導助手（ALT）の配置を増やす。 		

施策の展開方針		
②特別支援教育の充実	評価	A
平成28年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・学校教育課に、特別支援コーディネーターを配置し、保育園・幼稚園及び小中学校と連携し、就学指導及び個別の支援等について専門的な支援を行った。 		
平成29年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援コーディネーターの配置を継続し、引き続き関係機関との連携・支援を充実させていく。 ・通級指導教室の拡充と、教員の専門的機関への研修派遣を継続していく。 		

施策の展開方針		
③小中一貫型教育の推進	評価	A
平成28年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・小学校と中学校の連携を通し、学習指導や生徒指導、特別支援教育等について情報を共有し、相互理解のもと9年間を意識した連携の推進を行った。 		
平成29年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> ・中学校区をまとまりとしたコミュニティ・スクールの導入準備に取りかかり、中学校区で育てたい子どものビジョンづくり、9年間で育てたい力等について熟議し、小中一貫教育をより一層推進する。 		

施策の展開方針		
④持続可能でより良い学校の在り方の検討	評価	A
平成28年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・校区審議会を開催し、「将来の児童生徒数減少に対応した小中学校の編成の在り方」について審議され、中間答申をいただいた。 		
平成29年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> ・平成28年度から継続になっていた「今後の学校の編成に照らした誠道小学校の在り方」について校区審議会で審議され、昨年の審議に加えて最終答申をいただいた。今後、最終答申を受け、教育委員会が今後の学校の在り方の方向性について協議を重ね決定していく。 		

具体的施策	(2) 道徳教育・国際理解教育・英語教育の充実
-------	-------------------------

施策の展開方針

①道徳教育の推進	評価	A
平成28年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・今後、小中学校の道徳の時間が、「特別の教科・道徳」と教科化になるにあたり、各学校で職員研修及び研究授業等を行い、道徳教育の充実に向けた準備を行った。 		
平成29年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> ・若手教員に対して、道徳教育の実践について研修を行うと共に、各校での研修及び研究会についての指導及び支援を充実していく。 ・各教科や各領域及び体験活動等と道徳教育を関連づけ、学校教育活動全体で道徳教育が充実するよう指導及び支援を充実させていく。 		

施策の展開方針

②国際理解教育の促進	評価	A
平成28年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・中学校生徒9名が、ロシアと関わりのある根室市を訪れ、日本とロシアの交流の歴史と現在の課題等について学習を行った。 		
平成29年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度も根室市を訪れたが、より国際理解を推進するために、中学生の海外への訪問について検討する。 		

施策の展開方針

③英語学習の推進	評価	A
平成28年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・小学生5・6年生を対象とした土曜英語学習「境港うきうきイングリッシュ」を年間7回実施し、英語に親しむ学習の機会を開設した。 ・民間業務委託によるALTを新たに1名配置すると共に、中学校でスコア型英語テスト「GTEC」を導入し、英語指導の充実を図った。 		
平成29年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> ・土曜英語学習「境港うきうきイングリッシュ」を継続して行う。また、小学校での英語授業の拡大に伴い、ICT等の機器の整備を進めると共に、ALTの配置を増やしていく。 		

具体的施策	(3) 地産地消・食育の推進
-------	----------------

施策の展開方針

①健全な食生活の実践のための食育の推進	評価	A
平成28年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・園児が自ら調理を行うフッシュキッチンの実施や、給食に使用する野菜等の処理をお手伝いしたり、菜園活動など、子どもたちの五感を通じた体験を増やししながら、食事についての望ましい習慣を学んだり、食を楽しむ機会を推進しました。 		
平成29年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> ・フィッシュキッチンをはじめとした事業を継続実施し、子どもたちの体験を大切にしながら、食育の推進を図っていきます。 		

施策の展開方針		
②郷土愛醸成に向けた協働による食育の推進	評価	A
平成28年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・市内保育園幼稚園でマグロやカニなど境港を代表する食材を利用した食育集会、フィッシュキッチンを生産者(港ベジターズ等)、地域ボランティア(境港ベニガニ有志の会、食生活改善推進員等)と協働で実施しました。 		
平成29年度以降の取組(予定)		
<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き農業、漁業、加工流通業、食育活動に取り組む地域の方々等と連携をとりながら、食育活動に取り組んでいきます。 		

施策の展開方針		
③安心・安全でおいしい学校給食の提供	評価	A
平成28年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・学校給食の質の向上を図るため、新メニューの考案、調理員講習会の開催、業務改善等に積極的に取り組んだ。 ・センター所属の栄養士が学校を訪問し、食育指導を述べ261回実施した。 ・地場産品活用の取組として「境さば」を提供した。 		
平成29年度以降の取組(予定)		
<ul style="list-style-type: none"> ・学校給食の質の向上を図るため、引き続き、新メニューの考案、調理員のスキルアップ、業務改善等に積極的に取り組むとともに、栄養士による学校での食育指導を行う。 ・新たな地場産品の活用に取り組むとともに、学校給食米の田植え・稲刈り体験や料理教室等の食についての学習の場を創出する。 		

施策の展開方針		
④食生活改善推進員の人材育成、活動支援	評価	A
平成28年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・食生活改善推進員会の地区活動(年間117回、参加延べ人員4,082人)に対する支援のための助成事業を継続。(＠20,000円×7地区) ・食生活改善推進員(7地区) 平成28年度:224名(うち男性0名) 		
平成29年度以降の取組(予定)		
<ul style="list-style-type: none"> ・食生活改善推進員会の地区活動に対する支援のための助成事業を継続。 ・食の大切さを伝える人材の育成、食生活の普及活動を実践する「食生活改善推進員」の養成講座を実施し、生涯を通じた適切な食育活動の普及、啓発の推進を図る。 ・食に関する講演会の実施。 ・食育推進基本計画の策定 		

具体的施策	(4)生涯学習の推進や地域文化・歴史の継承
-------	-----------------------

施策の展開方針		
①公民館活動の充実	評価	A
平成28年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民のニーズの把握に努め、ニーズに対応した学習機会を提供した。 ・公民館職員が積極的に研修会等に参加し、社会教育に関する知識力の向上に努めた。それを活かし、公民館が地域コミュニティの核となるように、公民館の機能を高めるように努めた。 		
平成29年度以降の取組(予定)		
<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、ニーズの把握に努め、ニーズに対応した公民館活動のさらなる充実を図る。 		

施策の展開方針		
②生涯読書活動の推進	評価	A
平成28年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・ブックスタートや読み聞かせ活動など、胎児から高齢者まで生涯を通じた読書活動の推進に取り組んだ。また、読書活動推進大会を開催し、読書の楽しさ・大切さを伝えた。 		
平成29年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、ブックスタート、小・中学校の読み聞かせや読書活動推進大会の開催など様々な読書活動の推進に努める。 		

施策の展開方針		
③体育活動の推進	評価	A
平成28年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・鬼太郎カップ境港駅伝競走大会や市民体カテストの開催、体育協会や各地区が実施する体育行事への助成を行うことにより、市民の体育活動の促進に努めた。 ・体育施設を適正に管理し、市民が日常的に体育活動を行える環境づくりに取り組んだ。 		
平成29年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、体育行事の開催、各種団体が実施する体育行事への支援を行うとともに、施設を適正に管理することにより、日常的に体育活動を行える環境づくりに取り組んでいく。 		

施策の展開方針		
④文化活動の推進	評価	A
平成28年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・市美術展覧会やピアノコンクール、菊花展、松本英三木版画展を開催したほか、綾木いづみ日本画展や文化協会等各種団体が行う自主事業への助成、文化ホール等の文化施設の管理運営など、市民が文化に親しめる環境づくりに取り組んだ。 		
平成29年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> ・各種文化活動を開催するほか、各種団体による文化活動を支援することにより、文化に親しめる機会を市民に提供していく。 ・境港市民交流センター（仮称）の整備だけでなく、既存の文化施設を適正に管理することにより、市民が日常的に文化活動を行うことができる拠点の整備に努める。 		

施策の展開方針		
⑤文化財の保存・活用・周知	評価	A
平成28年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・文化財保護審議会を開催し、文化財の保存・活用方法を検討するほか、文化財の存在を市民に知ってもらうため、市内の文化財を掲載したハンドブックを製作した。 		
平成29年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> ・文化財保護審議会にて文化財の保存・活用方法を検討するほか、文化財所有者が行う文化財保存の取り組みを支援していく。また、市民が地元の歴史に関心を持ち、文化財に親しんでもらえるよう、文化財の周知に努めていく。 		

施策の展開方針		
⑥一人ひとりの人権を尊重した住みよいまちづくりの推進	評価	A
平成28年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・平成28年度に「障害者差別解消法」が施行されたことより、境港市人権教育推進協議会と連携して人権講座を開催、また福祉課と連携して境港市職員人権研修等を開催し、人権教育の啓発を行った。 ・市内7地区のうち、3地区（渡、誠道、中浜）において人権学習地区巡回講座を実施し、参加者全員で楽しくゲームをしながら、「世界人権宣言」と「日本国憲法」にふれながら様々な「人権」について考え、人権意識の向上に努めた。 ・また、「絆がはぐくむ人権のまちづくり」をテーマとした「境港市人権ふれあいフェスティバル」の開催や、各強調月間等において当該講座を行い、人権教育の啓発を行った。 		
平成29年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> ・社会や地域（境港市）の様々な人権問題を正しく理解し、一人ひとりを大切にしたい人権を尊重した住みよいまちづくりを推進していくため、引き続き、鳥取県や境港市人権教育推進協議会、また各種関係団体と連携しながら人権意識の向上に努めていく。 ・平成30年度には、「境港市人権施策推進指針」の改定があるが、境港市の実情にあった改定を行うとともに、社会情勢を踏まえた啓発を行っていく。 		

具体的施策	(5) 結婚から子育てまでの総合的支援の推進
-------	------------------------

施策の展開方針		
①出会いの場の創出	評価	A
平成28年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・中海・宍道湖・大山圏域で一体となり結婚支援事業を実施した。（米子市、松江市の2会場で参加者178名） ・とっとり出会いサポートセンター「えんトリー」と連携して、「出会いサポーター」の募集や会員登録者数の増加に向けたPRを行った。 		
平成29年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、中海・宍道湖・大山圏域で一体となり結婚支援事業を実施していく。 ・とっとり出会いサポートセンター「えんトリー」と連携して、会員登録者数の増加に向けたPRを行うとともに、出張登録会や相談会等の開催に取り組む。 		

施策の展開方針		
②地域における子育て支援の充実	評価	A
平成28年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・毎月発行する子育て情報誌を、保育関係施設に加え、各地区公民館にも配布し、掲示してもらっているほか、市報に子育てに関するコーナーを常設するなど情報提供に取り組んだ。 ・子育て支援サービスの利用機会の向上については、地域子育て支援センターひまわりの利用者数が、平成28年度は2万人を超え過去最高を更新するなどの成果があった。 		
平成29年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き情報発信の充実や子育て支援サービスの利用を促し、子育てに関する不安の解消に取り組んでいく。 		

施策の展開方針		
③子育て家庭に対する支援	評価	A
平成28年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育サービスの充実に努め、平成28年4月1日時点での保育所待機児童数0人を維持。 ・ 第3子の無償化（平成27年9月～）、低所得世帯で同時在園の場合の第2子の保育料無償化を実施するなど負担の軽減を図った。 ・ 保育園・幼稚園・認定こども園・小学校・中学校の連携に係る職員研修の実施、特別支援コーディネーターの配置により、支援が必要な園児の小学校へのスムーズな引き継ぎを実施した。 ・ 妊娠期から出産、乳幼児期にかけて、親子がふれあう機会を促進するため、妊娠期からの読み聞かせ、ブックスタート（ブックスタートプラス）事業を継続して実施した。 		
平成29年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育サービスについては、子育てニーズに対応できるよう引き続き努めていく（平成29年4月1日時点での保育所待機児童数は0人を維持）。 ・ 引き続き子育て世帯の経済的負担の軽減に取り組んでいく（平成29年4月からは、ひとり親世帯の方の保育料の軽減等を実施）。 ・ 保育士を対象に、子どもの成長発達に関する研修や公開保育の実施を通じて、資質の向上に取り組んでいく。 ・ 妊娠期から出産、乳幼児期にかけて、親子がふれあう機会を促進するため、妊娠期からの読み聞かせ、ブックスタート（ブックスタートプラス）事業を継続して実施する。 		

施策の展開方針		
④豊かな心を育む教育の推進と子どもの健全育成	評価	A
平成28年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校高学年を対象に赤ちゃん登校日、命の学習会を市内6校で開催し、乳児と両親との関わりの中で、コミュニケーションの基本、命の大切さや親子関係づくりについて、参加者が相互に学ぶ機会を提供した。（※平成19年度から継続実施中。） 		
平成29年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 平成29年度も市内小学校6校で継続実施。 ・ 平成30年度は市内各小学校と連携して継続実施の予定。 		

施策の展開方針		
⑤子育てと仕事の両立支援	評価	A
平成28年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育所・認定こども園の利用については、平成28年4月1日時点での待機児童0を達成した。 ・ また、休日保育、延長保育、一時預り、病児病後児保育、ファミリー・サポート・センターの運営等、保護者の就労と子育ての両立を支援するための事業を実施した。 		
平成29年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 平成29年度は、三歳未満児の保育利用ニーズが増加している状況に対応するため、公立保育園での1歳児、2歳児の受入枠を増やしたほか、私立保育園との入園調整を繰り返し実施したことにより、平成29年4月1日時点での待機児童0人を維持した。平成30年度についても、小規模保育事業所の開設により未満児の保育の受け皿拡大を予定している。 ・ 休日保育等の特別保育やファミリー・サポート・センターの運営を引き続き行い、保護者の就労と子育ての両立が図られるよう取り組んでいく。 		

施策の展開方針		
⑥女性活躍、ワークライフバランスの推進	評価	A
平成28年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・境港市 男女共同参画施策推進事業として、平成27年度男女共同参画推進計画の実施状況を公表。また、境港市男女共同参画推進審議会を2回開催し、境港市男女共同参画推進計画の実施状況等、女性活躍及びワーク・ライフ・バランスについての協議を行った。 ・啓発事業として県と連携し、事業所対象のワーク・ライフ・バランス講演会等を開催するとともに「鳥取県男女共同参画推進企業認定制度について」、認定制度の内容とメリット（支援・優遇措置等 支援・優遇措置等 支援・優遇措置等）等について県の担当者が説明を行い、女性活躍・ワーク・ライフ・バランスの啓発・推進に努めた。 ・一般市民対象としても、ワークショップを行い、同様に啓発・推進に努めた。 		
平成29年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度の「第3次男女共同参画推進計画『女（ひと）と男（ひと）とのいきいきプラン』」と「女性活躍推進計画」を一体化した計画の策定に向け、平成29年度には、「市民意識調査」を実施し、将来像として掲げている「心豊かで活力ある男女共同参画のまち境港」の実現に向けた、境港市の実情にあった計画・取り組みを行っていく。 		

施策の展開方針		
⑦要保護児童等への対応ときめ細かな取組みの推進	評価	A
平成28年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・要保護児童等については、要保護児童対策地域協議会の枠組みにより、保育園、小中学校、医療福祉などの関係機関が連携して対応した。 ・平成28年4月より、ひとり親家庭等の児童を対象とした土曜学習会を開始し、学校以外で勉強する機会を提供するとともに、保護者の育児負担の軽減を図った。 		
平成29年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> ・要保護児童等への対応については、要保護児童対策地域協議会を中心とした児童虐待の防止に引き続き取り組んでいくほか、平成28年度実績にも掲げた事業を継続し、支援を必要とする方との顔の見える関係づくりを進めていく。 		

施策の展開方針		
⑧母子保健事業の充実	評価	A
平成28年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・平成28年4月、境港市子育て世代包括支援センター（保健相談センター内）を開設。専門職の母子保健コーディネーターを配置し、全ての妊婦の個別面談、妊産婦等の状況を継続的に把握している。新生児家庭訪問、両親学級等の母子保健事業、子育て支援サービスによる妊娠期から子育て期（就学前）にわたる切れ目のない総合的なサポートを実施。 ・特定不妊治療、人工授精に要する経費の一部助成を国、県制度の対象者に継続実施し、不妊相談を新たに開始。 ・訪問型ヘルパー派遣、通所型デイケアによる産後ケア事業を育児への不安が強く、家族から十分な支援が受けられない対象者に実施。 ・母子の健康を維持し、発達の支援を行うために、妊婦健診の受診勧奨と産後健診・1か月児健診の無料化を実施。 ・6か月児、1歳6か月児、3歳児の健診を実施し、精密検査受診勧奨や関係機関との連携により、障がい等の早期発見とフォローに努めた。 ・予防接種法に基づく定期接種について、医療機関と連携して適切に実施。平成28年10月からB型肝炎が定期接種化され、接種を開始。 		
平成29年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度から、不妊検査、一般不妊治療（保険適用治療）に要する経費の一部助成を開始。 ・新生児聴覚検査費用の助成を開始。（1人2,000円限度） ・歯科検診・フッ素塗布の対象拡大。（1歳9か月児から2歳9か月児までの希望者） ・産後ケア事業（宿泊型ショートステイを新設）の拡充。 ・親子関係の確立、子育て不安の解消のための子育て講座「子育ての旅」を開催し、子育てのヒント、参加者同士の交流、関係づくり等、地域の子育てネットワーク強化を図る。 		

具体的施策	(6) 高齢者の地域ケア体制の充実
-------	-------------------

施策の展開方針

①地域包括ケア体制の推進	評価	A
平成28年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> 平成28年10月より、中核を担う地域包括支援センターを集約・市直営化とし、包括ケアシステムに関する周知の強化、在宅生活への可能性について啓発を行うなど、地域包括ケアシステムの構築に向けて取り組んだ。 		
平成29年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> 地域ケア会議を開催し、在宅医療と介護連携について地域資源の把握や、課題抽出、解決策の検討を行い、きめ細かな医療と介護のサービス提供する。 ・引き続き、在宅生活への可能性や、地域で支え合う体制づくりについて、市民への普及啓発に取り組む。 		

施策の展開方針

②地域での見守り体制の充実	評価	B
平成28年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> 地域の災害時要援護者等見守りが必要な高齢者、障害者等の安否確認等を行う地域での取り組みに対し、「境港市見守りネットワーク構築事業支援補助金」を2団体に対し交付した。 		
平成29年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> 生活支援コーディネーターを市社会福祉協議会に配置するとともに、避難行動要支援者名簿を自治会等に配布し、地域での見守りマップ作成など、平常時から高齢者を支えるネットワーク活動を支援する。また、自治会等が行う見守りを兼ねたゴミ出し支援の取組みに対し支援を行う。 		

具体的施策	(7) 市民の健康づくりの推進
-------	-----------------

施策の展開方針

①健康づくりの推進（がん検診等の受診促進）	評価	A
平成28年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> 保健相談センターや公民館等で実施した健康まつり、公民館まつり、生活習慣病に関する講演会等の場で、「元気だからこそ毎年続けて受ける検診（健診）」の重要性を市民に対してPRし、啓発に努めた。 市民同士の身近な声掛けで受診を促す、「検診すすめ隊」の会員拡大に努め、29年3月末現在830名に増加した。 市内開業医での結核・肺がん検診（300人）を開始し、受診機会を拡大した。 休日開催のセット検診の回数増加、各地区での巡回検診を実施し、より市民が受診しやすい環境づくりに努めた。 市報、ホームページ等で毎年検診を受診することの大切さを周知した。 検診未受診者等に対して電話やダイレクトメール等で積極的な受診勧奨を行った。 		
平成29年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> 28年度の取組みを継続実施。 受診者全てに検診結果を通知（胃・肺・大腸がん） 市内開業医での結核・肺がん検診受診枠の拡大（300人から500人に増加） 市内企業等へのがん検診受診、事業所内検診実施について、積極的な勧奨を行う。 健康づくり行動計画の策定 		

施策の展開方針		
②生活習慣病の重症化予防	評価	A
平成28年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・特定健診、レセプトデータの解析を行い、生活習慣病、特に糖尿病の発症、重症化リスクの高い対象者を選定し、その中から主治医と連携して、生活支援プログラム（生活習慣や食生活に対する保健指導、栄養改善指導）を受けることに同意した20人に対し介入を開始。 		
平成29年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> ・保健師、栄養士の専門職による生活支援を定期的実施し、主治医と連携して、対象者の健康寿命の延伸を図る。（生活支援期間は3年間を予定。） 		

施策の展開方針		
③介護予防の推進	評価	A
平成28年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・平成28年度より、介護予防給付費の抑制を図るため、境港市の実情に合わせた「介護予防・日常生活支援総合事業」を実施した。 		
平成29年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> ・「介護予防・日常生活支援総合事業」の訪問型・通所型サービスにおいて多様な取り組みを進めると共に、高齢者の介護予防推進に向け、「いきいき百歳体操」や「健口づくり教室」を公民館単位で実施し、地域での自主的な活動に繋げていく。 		

施策の展開方針		
④高齢者の社会参加と生きがいづくり	評価	A
平成28年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者クラブやグループ等の活動支援、「高齢者ふれあいの家」事業の実施や境港市シルバー人材センターによる高齢者の就業機会の創出支援など社会参加の場を確保した。 		
平成29年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、高齢者クラブやグループ等の活動支援等を行うとともに、市シルバー人材センターに対して介護予防・日常生活支援総合事業（訪問型サービス）や空き家対策事業を委託するなど、高齢者の就業機会の創出に努める。 		

施策の展開方針		
⑤精神疾患の予防・自死対策	評価	A
平成28年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・こころのカウンセリングを毎月実施。平成26年度に開設したホームページでセルフメンタルチェックが可能な「こころ体温計」サイトの継続。 ・平成24年度開始の「いのちとこころのプロジェクト事業」の継続事業として、「こころとからだの健康アンケート（小学校6年生対象）」の実施、地域住民向け「いのちとこころ」の出前講座、地域ネットワークの拡大を目指した「こころの応援団をひろげる会」を開催。 ・赤ちゃん登校日、命の学習授業を実施し、小学生の頃から、「いのちの尊さ、大切さ」を理解してもらうよう努めた。 		
平成29年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> ・こころのカウンセリング、「こころ体温計」サイトの継続。 ・「いのちとこころのプロジェクト事業」の「こころとからだの健康アンケート」、「いのちとこころ」の出前講座、「こころの応援団をひろげる会」を継続実施。 ・赤ちゃん登校日、命の学習授業を継続実施 ・平成30年度に地域の実情に合った「自死対策基本計画」を策定予定。 		

具体的施策	(8) 障がい者の自立・社会参加の支援
-------	---------------------

施策の展開方針

①生活支援の充実	評価	A
平成28年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> 障がいのある方への相談支援を西部地区の5か所の支援センターに委託した。また市内障がい福祉サービス事業所連絡会を開催した。 西部障害者自立支援協議会において、相談支援や困難事例への対応のあり方についての協議や事業所間のサービス調整等を行った。 		
平成29年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> 現在の相談支援体制を見直すとともに、在宅サービスの充実、日中活動の場や居住環境の整備を図る。 成年後見については、市長申し立て手続きを行ったものが1件、その他調査中のものもあり、今後も関係機関と連携を図りながら実施していく。 		

施策の展開方針

②就労支援の充実	評価	A
平成28年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> 相談支援センターや障害者就業・生活支援センター、障がい福祉サービス事業所等と連携し、障がいのある方の福祉的就労サービス（就労継続支援）の利用支援や一般就労への移行に取り組んだ。 障がい者就労施設等からの物品等の調達は、目標額（前年度実績を上回る額）を達成した。 		
平成29年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> 障がい者就労に関する周知啓発（市報、HP掲載）を行った。 関係機関と連携し、事業者の障がい者雇用に対する理解を深めるとともに、就労移行支援、就労継続支援の充実を図る取り組みを行っていく。 障がい者就労施設等からの物品等の調達は、引き続き目標額を達成するよう推進を図っていく。 		

施策の展開方針

③生活環境の整備と障がいへの理解促進	評価	A
平成28年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> 日常生活用具の給付については実績が見込量を上回った。住宅改良助成については1件実施した。 あいサポート運動を市内2団体に委託して実施した。 「ほっとはあと&福祉ふれあいまつり」を開催した。 水木しげるロードリニューアル事業において、誘導ブロック等に関する協議を関係団体と行った。 		
平成29年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> 日常生活用具の給付や住宅改良助成について、必要としている方が円滑に利用できるよう引き続き情報提供を行っていく。 今後建設予定の市民交流センター（仮称）等、市内施設のバリアフリー化を促進する取組を行っていく。 平成29年9月に施行された「鳥取県民みんなが進める障がい者が暮らしやすい社会づくり条例（あいサポート条例）」に基づき、障がいへの理解とあいサポート運動の推進の取り組みを引き続き行っていく。 災害時に避難行動要支援者に適切な支援ができるよう体制の構築を図る。 		

施策の展開方針		
④精神障がい者の自立支援の充実	評価	A
平成28年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・精神障がい者手帳、自立支援医療制度（精神通院）について、窓口、ホームページで周知を図った。また、こころの病気に関する各種支援制度等を紹介したチラシを市内及び米子市内の医療機関に配布。（H28年度：手帳数293人、自立支援医療受給者数711人） ・精神障がい者当事者対象の「ぼちぼちクラブ」を年12回開催、家族会主催の心の学習会、バザー等の活動への支援を継続。 ・地区担当制を基本に、相互協力等による保健師のケース対応能力の向上に努めた。 		
平成29年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> ・精神障がい者手帳、自立支援医療制度（精神通院）について、窓口、ホームページ等で周知する。 ・精神障がい者当事者が自発的に活動するための支援及び家族会主催の活動への支援継続。 ・保健師等専門職の相談・支援の対応能力の向上に努める。 		

施策の展開方針		
⑤発達障がい者支援の充実	評価	A
平成28年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・1歳6か月児健診、事後健診及び3歳児健診で療育専門機関の受診や指導が必要とされる幼児の早期発見に努めた。 ・健診結果等で、発達面で経過観察が必要な幼児や育児不安を持つ保護者に対し、療育を取り入れた遊びを通して、助言・指導を行う「すくすく教室」を開催。 ・年中・年長児の保護者が発達相談を希望する幼児を対象に「5歳児発達相談」を開催し、必要に応じて発達検査を実施する等、適切な支援を行った。 ・市内にある「NPO法人陽なた」を中心に発達障がい児に関する相談支援や障がい児通所サービスを利用いただいている。 		
平成29年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> ・1歳6か月児健診、事後健診及び3歳児健診で療育指導または療育専門機関受診が必要とされる幼児の早期発見の取組みの継続。 ・地域子育てセンターでの「すくすく教室（療育教室）」の継続実施。 ・「5歳児発達相談」の継続実施。 ・幼稚園・保育園児の発達段階のポイントとその支援をテーマに、医師、療育指導員を講師に、子どもの成長発達を考える講演会（全6回）を開催。 ・関係機関と連携し、引き続き発達障がい児者個々に必要な支援が提供できるよう、体制整備を図っていく。 		

基本目標	4 安心して住みよい生活基盤の充実
------	-------------------

具体的施策	(1) 公共下水道の整備促進
-------	----------------

施策の展開方針

①未普及地区の整備促進	評価	A
-------------	----	---

平成28年度取組実績

- ・汚水管渠整備については、渡町において境港2号汚水幹線などの汚水幹線工事、渡町、森岡町、米川町、夕日ヶ丘1丁目において汚水管渠の面整備等を行った。
- ・終末処理場（下水道センター）については、平成27年度から平成29年度の3箇年で増設工事委託（汚泥処理施設増設及び汚泥等受入施設新設）を実施しており、このうち汚泥等受入施設が完成した。
- ・汚水整備区域において、排水不良や老朽化の進んだ側溝等雨水排水路を改修した。

<公共下水道の整備状況>

区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
整備面積(ha)	758.6	777.6	813.9	839.2	868.5	893.6
汚水管渠(km)	150.7	155.6	163.4	170.1	176.4	180.3
処理区域人口(人)	18,735	19,885	21,277	23,324	23,977	24,085
人口普及率(%)	52.3	55.0	59.7	66.0	68.6	69.7
水洗化人口(人)	16,082	16,635	17,524	18,172	18,904	19,330

<生活排水処理施設(合併処理浄化槽を除く)人口普及率の比較(平成28年度末)>

区分	境港市	全国平均	県内平均	米子市	倉吉市	鳥取市
人口普及率(%)	69.7	81.2	87.1	77.9	91.4	94.5

平成29年度以降の取組(予定)

- ・下水道センター増設工事委託は、汚泥処理施設の完成により平成29年7月に完了した。
- ・汚水管渠整備については、渡地区、外江地区、米川町において汚水幹線の整備と面整備を行う。
- ・汚水管渠整備に合わせ、排水不良や老朽化が進んだ側溝等雨水排水路の整備を行う。

施策の展開方針

②下水道施設の適正な維持管理	評価	A
----------------	----	---

平成28年度取組実績

- ・下水道センターについて、平成27年度から平成28年度の2箇年での改築更新工事委託（水処理施設1・2系列、送風機施設、主ポンプ施設）を実施した。
- ・下水道センター等の既設機器の保守整備と交換や、マンホール・公共樹の補修等、維持管理を適切に行った。

平成29年度以降の取組(予定)

- ・下水道センターについて、平成29年度から平成31年度の3箇年で改築更新工事委託（汚泥処理施設、沈砂池施設）を実施する。
- ・管渠施設を含めた下水道施設について、適正な維持管理を行う。

施策の展開方針		
③経営の健全化	評価	A
平成28年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・下水道センター運転経費の増加抑制に寄与する増設・改築更新工事を実施した。 ・未普及区域の解消、未接続世帯に対する接続勧奨等により有収水量が増加し、経費回収率が改善した。 ・整備計画や経営状況について、市報・ホームページ等を通じて公表した。 		
平成29年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> ・下水道センターの運転経費等の維持管理費の抑制に努める。 ・未普及区域の解消、未接続世帯に対する接続勧奨、整備計画及び経営状況の公表等を継続して実施する。 ・地方公営企業法に基づいた会計方式へ移行するため、固定資産台帳作成・公営企業会計システム構築等の外部委託、その他の移行作業を進め、平成32年4月から移行する。 		

具体的施策	(2) 夕日ヶ丘の市街化促進
-------	----------------

施策の展開方針		
①分譲促進	評価	A
平成28年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・ポスティングや雑誌・新聞等により、夕日ヶ丘分譲地及び定期借地権制度の周知・PRに取り組んだ。 ・平成28年度定期借地権制度利用実績 15件 		
平成29年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、パンフレットの戸別配布や雑誌媒体等を活用し、分譲地及び定期借地権制度の幅広い周知・PRに取り組む。 		

施策の展開方針		
②商業・利便施設の誘致推進	評価	A
平成28年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・商業・利便施設の誘致実現に向けて、事業者に対して夕日ヶ丘商業用地のPRに取り組んだ。 		
平成29年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> ・地区の利便性や魅力度の向上に資する商業・利便施設の一日も早い実現に向けて、より一層の誘致活動に取り組む。 		

施策の展開方針		
③地区の賑わい創出	評価	A
平成28年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・「夕日ヶ丘水辺で乾杯」「いきいき浜っ子祭」「ボート・ペーロン大会」等各種イベントが開催された。 		
平成29年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、親水護岸を中心にスポーツ・文化・美化活動など各種イベントを開催し、水辺空間と一体となった賑わいの創出に取り組む。 		

具体的施策	(3) 快適な都市環境づくり (公園整備・空家対策・防犯対策)
-------	---------------------------------

施策の展開方針

①公園の適正管理	評価	A
平成28年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> 公園に対する市民のニーズを把握するためにアンケートを実施した。(調査対象者500人、回収率50%) 		
平成29年度以降の取組 (予定)		
<ul style="list-style-type: none"> アンケート結果を基に施設改良の検討を行い、除草作業の効率化などに反映する。 夕日ヶ丘地区で整備中の親水護岸と、隣接する夕日ヶ丘メモリアルパークが一体的に活用できるよう、ジョギングコースなどの整備を図る。 		

施策の展開方針

②建物の適正管理の周知、働きかけ	評価	A
平成28年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> 固定資産税の納税通知書送付時に建物の適正管理を促す文書を同封したほか、市報を活用して空き家の適正管理の周知を図った。 		
平成29年度以降の取組 (予定)		
<ul style="list-style-type: none"> 平成29年度に締結した「空家等の適正な管理の推進に関する協定」に基づき、シルバー人材センターが実施する空家管理に関する業務の周知を図り、危険な空家の増加を抑制に努める。 		

施策の展開方針

③特定空家の解消	評価	A
平成28年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> 空家の所有者等に働きかけを行い、平成28年度は9件の特定空家を解消した。 		
平成29年度以降の取組 (予定)		
<ul style="list-style-type: none"> 平成29年度に特定空家の除却に対する補助制度の拡充を行った。制度の周知を図り、金銭的な理由により解体が進まない空家の解消に努める。 		

施策の展開方針

④「空き家情報バンク」制度の活用促進	評価	A
平成28年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> 市ホームページでの案内や市報での案内により、2件の物件登録があった。 		
平成29年度以降の取組 (予定)		
<ul style="list-style-type: none"> 今後も、鳥取県宅地建物取引業協会等と協力しながら、広報やマッチングに力を入れていく。 		

施策の展開方針		
⑤安心安全なまちづくりの推進	評価	A
平成28年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・防犯カメラを市内4カ所に設置し、犯罪の未然防止に向けた環境整備を行うとともに、境港市防犯協議会や関係団体と連携した防犯パトロールの実施等、安心安全なまちづくりの推進に取り組んだ。 		
平成29年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> ・安心安全なまちづくりの推進に向け、引続き境港警察署や関係団体と緊密な連携を図り、防犯カメラの設置等、犯罪の未然防止のための環境整備に向けた取り組みを行う。 		

具体的施策	(4) 荒廃農地の解消
-------	-------------

施策の展開方針		
①担い手の育成・確保	評価	A
平成28年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・生産基盤が脆弱な新規就農者の経営安定を図るため、機械・施設等を整備する費用等の支援を実施 ・就農応援交付金：1件、青年就農給付金：5件、就農条件整備事業：3件 		
平成29年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> ・継続して各種支援制度の活用促進及び、新規就農者に対するサポート体制を関係機関と連携し強化する。 ・就農応援交付金、農業次世代人材投資資金、就農条件整備事業、農地賃借料助成事業など 		

施策の展開方針		
②農地流動化の促進	評価	A
平成28年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・従来の農業公社による農地賃借事業に加え、農地中間管理事業の活用による担い手農家、新規就農者への農地集積を行った。 		
平成29年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> ・農地中間管理事業の活用を推進するため、農業委員会と連携し、農業経営をリタイア、縮小する農家などの出し手と、農地を求める担い手とのマッチングを図る取り組みを行う。 		

施策の展開方針		
③農地の再生・適正管理	評価	A
平成28年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・県の補助事業を活用し約64aの再生事業を実施し、若手担い手への農地集積に繋げた。 ・農業委員会と連携し農地パトロールを実施し、農地の状況把握に努め、土地所有者等に対し、適正利用の指導・啓発を行った。 		
平成29年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> ・国等の補助事業を活用した再生事業を実施するほか、担い手の農地ニーズ、及び土地所有者の意向を把握し、年次的な農地再生活用計画を検討する。 		

施策の展開方針		
④新たな工業団地造成に伴うほ場整備	評価	A
平成28年度取組実績		
・今後の事業化に向け、先進事例の研究及び候補地の検討に取り組んだ。		
平成29年度以降の取組（予定）		
・引き続き、事業化の手法及び候補地の選定に取り組む。		

具体的施策	(5) ごみ減量化・資源化の推進
-------	------------------

施策の展開方針		
①生ごみ分別世帯の拡大	評価	A
平成28年度取組実績		
・キャンドルナイトでの募集チラシ配布等で、平成28年度末において生ごみ分別世帯は、489世帯まで増加している。		
平成29年度以降の取組（予定）		
・引き続き広報を行い拡大に努める。（H29.10現在：507世帯まで増加）		

施策の展開方針		
②使用済み紙おむつの分別収集の拡大	評価	A
平成28年度取組実績		
<p>・次の世帯の使用済み紙おむつの収集を実施した。</p> <p>グループホーム入居世帯（4ヶ所）：68人 有料老人ホーム入居世帯（4ヶ所）：115人 訪問介護利用等一般世帯：14人 合計 197人 収集量：27トン</p>		
平成29年度以降の取組（予定）		
・新たなグループホーム1施設の追加と訪問介護等一般世帯の追加に努める。		

施策の展開方針		
③清掃センターの解体及び跡地利用	評価	A
平成28年度取組実績		
・清掃センターの解体と跡地利用を環境省の循環型社会形成推進交付金を活用して実施するために、鳥取県西部地域循環型社会形成推進地域計画の変更にかかる費用の平成29年度予算措置を行った。		
平成29年度以降の取組（予定）		
・環境省の循環型社会形成推進交付金の申請基礎となる鳥取県西部地域循環型社会形成推進地域計画の変更を行う。		

具体的施策	(6) 防災体制の強化・整備
-------	----------------

施策の展開方針

①防災・災害対策基盤の整備	評価	A
平成28年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・防災行政無線の更新に向け検討を進めた。 ・公民館など災害時に避難所となる公共施設の耐震化を進めた。 ・津波一時避難所に県営住宅等を追加し、避難所の充実・強化を図った。 		
平成29年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> ・防災行政無線更新計画の策定を行っている。 ・公民館など災害時に避難所となる公共施設の耐震化を進めている。 		

施策の展開方針

②市民防災の促進	評価	A
平成28年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・自主防災組織の未組織自治会等に組織化に向けた説明を行なった。 ・防災士資格の資格取得を支援して10人が取得した。 ・防災出前講座や研修会等を実施し、防災意識の高揚を図った。 		
平成29年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> ・自主防災組織の比較的低い地区の総会に出向き、組織化に向けた説明を行なった。 ・防災士資格の取得を支援し、地域の防災リーダーの育成を支援する。 ・専門家による防災講演会の開催や職員による出前講座などを実施している。 		

施策の展開方針

③防災体制の強化	評価	A
平成28年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者や障がい者などの避難行動要支援者について、名簿を作成し、自主防災組織等に配布した。 ・鳥取県等と連携して住民参加型の原子力防災訓練を実施した。 		
平成29年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者や障がい者などの避難行動要支援者について、名簿を作成し、自主防災組織等に配布している。 ・鳥取県等と連携して住民参加型の原子力防災訓練を実施する。 		

具体的施策	(7) 市民会館周辺整備（防災、市民交流、文化・芸術拠点施設）
-------	---------------------------------

施策の展開方針

①市民意見を取り入れた施設づくり	評価	A
平成28年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・基本設計策定において、学識経験者や市民団体の代表者等で構成する検討委員会を開催（3回）、市民ワークショップ（3回）、市民説明会（2回）、パブリックコメントを実施し、幅広く市民の意見を取り入れた計画策定を行った。 		
平成29年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> ・実施設計においては、関係市民団体からの意見を取り入れながら策定する。 ・また、管理運営計画策定において、学識経験者や関係市民団体の代表者等で構成する検討委員会を開催するなど、市民の意見の聞き取りに努める。 		

施策の展開方針		
②財源の確保	評価	A
平成28年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・防衛省の「防衛施設周辺民生安定施設整備事業補助金（補助率75%）」を活用し、基本設計を行った。 		
平成29年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、防衛省補助金を活用して、実施設計、建設工事等を行う。 		

具体的施策	(8) 渡漁港周辺整備
-------	-------------

施策の展開方針		
①渡漁港周辺の道路拡幅整備	評価	A
平成28年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・多目的広場や内水排除施設、漁港周辺道路の拡幅用地として活用する、旧漁港の埋立（一次造成）が完了。 		
平成29年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> ・渡漁港周辺地区の安全・安心で快適な生活環境の実現に向け、平成32年度の完成を目指して、引き続き事業を実施していきます。 平成29～30年：漁港周辺道路整備に伴う樋門改築工事 平成30～32年：漁港周辺道路拡幅工事 		

施策の展開方針		
②多目的広場・内水排除施設整備	評価	A
平成28年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・多目的広場や内水排除施設、漁港周辺道路の拡幅用地として活用する、旧漁港の埋立（一次造成）が完了。 		
平成29年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> ・渡漁港周辺地区の安全・安心で快適な生活環境の実現に向け、平成32年度の完成を目指して、引き続き事業を実施していきます。 平成30年：内水排除施設整備工事 平成32年：多目的広場整備工事 		

具体的施策	(9) 公共施設の適正管理
-------	---------------

施策の展開方針		
①個別施設計画の策定	評価	B
平成28年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・取組み実績なし 		
平成29年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度は、県計画の調査研究を行い、個別施設計画のモデル例を提示する予定。 ・平成30年度以降、各施設所管課で境港市公共施設等総合管理計画で示された施設総量（延べ床面積）の縮減方針に沿って将来の施設利用を検討の上、長寿命化を図る施設について個別施設修繕計画を策定する予定。 		

施策の展開方針		
②安全な公共施設の管理	評価	A
平成28年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・定期点検が必要な42施設の1/3について、定期点検を実施。（定期点検での指摘事項は、施設所管課で予算要求に活用） 		
平成29年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> ・残り2/3の施設について、平成29、30年度で定期点検を実施予定。（定期点検での指摘事項は、施設所管課で予算要求に活用） 		

施策の展開方針		
③知識、技術力の向上	評価	A
平成28年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・市民会館の建築設備の定期点検について、モデル例として設備設計事務所に委託発注することで、設備点検の実施手法を検証した。 		
平成29年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度は、法改正（H28.6.1施行）で追加となった防火戸その他防火設備の定期点検講習会、外壁調査用赤外線サーモグラフィ操作説明会を受講した。 ・平成30年度以降も、適宜研修会等に参加し、知識等の向上に努める。 		

施策の展開方針		
④施設更新費用の縮減	評価	A
平成28年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・施設整備費用の縮減等を目的とし、市民会館・中央公民館・図書館分館の機能を集約した市民交流センター（仮称）の公募型プロポーザル方式を採用した。 		
平成29年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> ・建設後30年を経過する市営住宅について、今後10年余にわたる整備計画（管理戸数の縮減と整備手法（建替えまたは長寿命化改善）の方針）を策定した。 ・個別施設毎に長寿命化のモデル例に沿って修繕費を算出し、建替えまでのLCC（ライフサイクルコスト）の縮減と歳出予算の平準化を検討する。 		

基本目標	5 市民との連携による誠実な行政運営
------	--------------------

具体的施策	(1) 協働のまちづくりの推進
-------	-----------------

施策の展開方針		
①市民活動の促進	評価	A
平成28年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・市民活動センター登録団体運営協議会へ補助金を交付し、市民活動の促進を図った。 ・市民活動推進補助金を15団体へ交付し、市民活動の支援を行った。 ・日本海新聞ふるさと大賞に2団体を推薦し（共に受賞）、市民活動の広報・活性化を図った。 ・市報に団体紹介のページを新たに設け、活動の広報に努めた。 		
平成29年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、市民活動センター登録団体運営協議会へ補助金を交付し、市民活動の促進を図る。また、市民活動推進補助金の実績報告書の公開等により、事業の広報を行い、補助制度の周知を図る。 		

施策の展開方針		
②行政参加の促進	評価	A
平成28年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・審議会162回、委員の公募2回、パブリックコメント3回実施し、また、政策提案制度として、市民の声提案箱へ50件の提案を受理した。 		
平成29年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、市民の行政参加の機会を提供していく。 		

施策の展開方針		
③協働の促進	評価	A
平成28年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・「みんなでまちづくり推進会議」において、協働の取組状況の点検を行った。また、協働を促進するため、平成28年度は「若い世代の行政参加」をテーマにして、島根大学の学生を交え、意見交換を行った。 		
平成29年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、「みんなでまちづくり推進会議」において、協働の取組状況の点検を行う。また、協働を促進するための取組テーマに沿った意見交換や情報収集を実施し、協議・提言を行う。 		

施策の展開方針		
④ボランティア活動の促進	評価	A
平成28年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・境港市民総合ボランティアセンターへ補助金を交付し、ボランティア活動の促進を図った。 		
平成29年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、境港市民総合ボランティアセンターへ補助金を交付し、ボランティア活動の促進を図る。 		

具体的施策	(2) 市民に分かりやすい情報提供と広聴
-------	----------------------

施策の展開方針		
①広報の充実	評価	A
平成28年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> 市民に親しみやすい市報を目指し、表紙、背表紙のオールカラー化及び、新コーナーとして「さかいみなとまちの話題」「子育てひろば」を開始するなど、市報内容の充実を図った。 		
平成29年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、市報、ホームページの内容の見直しや、くらしの便利帳の発刊など、行政情報を分かりやすく積極的に提供していくため、一層の広報の充実を図る。 		

施策の展開方針		
②広聴の充実	評価	A
平成28年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> 市民の声提案箱や市長と語る会、出前講座など実施した。 		
平成29年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> 市民の声提案箱や市長と語る会、出前講座など実施している。 20から30歳代の若年層の意見を市政に反映するため、まちづくり若者委員会事業を実施した。 		

具体的施策	(3) 行財政改革の不断の継続
-------	-----------------

施策の展開方針		
①自立・持続可能な財政基盤の確立	評価	A
平成28年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> 歳入の積極的な確保、真に必要な施策の取捨選択を行い予算編成を行った。 平成28年度決算において市債残高は125億円と前年度比では約2億8千万円の減となっており、臨時財政対策債を除く実質的な市債残高はピーク時の4割程度に減少した。 自主財源の確保として、ふるさと納税による寄附金は昨年度を上回る額を集めることができた。 		
平成29年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> 市民交流センター（仮称）建設といった大型投資事業が控えているため、引き続き「規律ある財政運営」に徹し、自主財源確保に努める。 		

施策の展開方針		
②市民参加と協働による市政の推進	評価	A
平成28年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> 審議会の公開、委員の公募、パブリックコメントのほか、「市民の声提案箱」（政策提案）や「市長と語る会」（出前座談会）の実施により市民参加の機会創出を図った。 事業委託、共催・後援、補助・助成、事業協力、情報交換・情報提供などの様々な形態で協働に取り組んだ。 		
平成29年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> 今後も引き続き、市民参加と協働による市民に開かれた、市民本位の市政推進に取り組む。 		

施策の展開方針		
③職員一人ひとりの意識改革	評価	A
平成28年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 接遇研修やメンタルヘルス研修などの独自研修のほか、鳥取県職員人材開発センターが実施する職員の階層や経験年数に応じた階層別研修（新規採用職員研修、新任課長研修など）及び専門的な知識を深める専門研修（法務研修、クレーム対応など）並びに市町村アカデミー等（全国の市町村職員が集まる研修施設）におけるより高度な専門研修（児童虐待対応、生活困窮者自立支援など）に参加し、職員の能力向上に努めた。 ・ また、中海・宍道湖・大山圏域市長会において、圏域内の地方自治体職員と経済界がともに実施した人材育成研修に参加し、職員の人材育成を図った。 		
平成29年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 引き続き、鳥取県職員人材開発センターや市町村アカデミー等が実施する専門研修等に積極的に参加するとともに、本市独自の研修や中海・宍道湖・大山圏域市長会で実施する人材育成研修にも取り組み、職員の能力向上、人材育成を図る。 		